

令和2年度第2回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	令和2年8月5日(水) 10:00~10:55
場 所	オンライン会議(事務局:福岡市役所 1505 会議室)
出席者	<p>福岡市医師会 副会長 松浦 弘</p> <p>独立行政法人国立病院機構</p> <p>九州がんセンター 院長 藤 也寸志</p> <p>九州大学大学院医学研究院 准教授 福田 治久</p> <p>福岡県看護協会 会長 大和 日美子</p> <p>公認会計士 行正 晴實</p>
	<p>事務局</p> <p>福岡市保健福祉局長, 同理事, 同健康医療部長, 同医療事業課長</p>
	<p>病院機構</p> <p>理事長, 副理事長, 運営本部長, 法人運営課長</p> <p>福岡市立こども病院事務部長, 同看護部長, 同総務課長, 同経営企画課長, 同医事課長</p> <p>福岡市民病院事務部長, 同看護部長, 同総務課長, 同経営企画課長, 同医事課長</p>
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 令和元年度業務実績評価について</p> <p>(2) 第3期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価について</p> <p>3 その他</p>
配付資料	<p>資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 令和元年度の業務実績に関する評価結果報告書(案)</p> <p>資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第3期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果報告書(案)</p> <p>参考資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針</p> <p>参考資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領</p> <p>参考資料3 地方独立行政法人福岡市立病院機構 中期目標期間見込評価実施要領</p> <p>参考資料4 地方独立行政法人福岡市立病院機構 令和元年度の業務実績に関する評価結果(案)まとめ</p> <p>参考資料5 地方独立行政法人福岡市立病院機構 第3期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果一覧</p>

(1) 令和元年度業務実績評価について

○事務局

【資料1について説明】

○委員

全体的には市の評価案に賛成です。ただ、市民病院の「経営基盤の強化と運営費負担金の縮減」と「収益確保」について、病院機構の自己評価2が市評価3になっています。説明では、目標値に対する実績値の達成率が全体の平均で95%ないし96%を超えていることが、2ではなく3とした根拠になっていると思います。第1回評価委員会では、コロナウイルスの影響はないわけではないが、令和元年度の全体を見たときには、大きな問題ではないという考えもあったと思いますので、そういうところを含めて平均で95%を超えれば目標達成なのか、そのほかどういう根拠で2を3にしたか、客観性を持って説明できないといけないと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

目標値については、基本的に全て達成することが望ましいと思いますが、一定程度高いレベルで達成していて、かつ、プラスに働く要素がある部分を加味して、一つ評価を上げております。実績値が余りにも低ければ、評価をそのままにすべきだと思いますが、100にかなり近い実績を確保していること、それから、プラスに働いている要素も加味したところで、標準的な評価ができると判断して、評価を3としたところです。

○委員

プラスに働く要因があるというのは、もちろんわかりますので、評価を3にすることには同意しますが、プラスの評価というのを、少し客観的に記載したほうがいいのではと思っております。

○委員長

参考資料1の評価の方針にあるように、単に数値にとらわれずに、特色ある取り組みや様々な工夫を行った場合は積極的に評価するという基本方針に基づいた評価だと思います。

○委員

確かに、数字だけを杓子定規にとらえると、3という評価にはならないと思いますが、説明にあったようにプラスに働く要素があるのは、感覚的にわかります。根拠として書くのは難しいと思うけれど、3にした理由をもう少し付け加えていただけたらと思います。

○事務局

いただいたご意見を踏まえまして、検討させていただきます。

○委員長

今回出された意見を評価に反映していただくようお願いして、議事(1)についての審議を

終わらせていただきます。

(2) 第3期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価について

○事務局

【資料2について説明】

○委員

全体として、A B B Bという見込み評価は賛成です。

今年度の目標値の設定は、1月とか2月ぐらいに設定されて、コロナの影響がわからないまま設定をされていると思います。その目標値から下回るのは、誰が見ても明らかだと思いますが、今年度の実績評価をするときに、コロナの影響をどう勘案するか。コロナで頑張っておられますから、数値に見えない頑張りを評価するということは大切であり、異議はないのですが、どのようにして評価に客観性を持たせるか、今から考えたほうが良いと思います。

それから、コロナの関係で相当公的な役割を果たしておられますので、特筆すべき取組の中で、もっと強調してもいいのではと思います。

また、経営のことに关しましては、運営費負担金の縮減も目標に入っているのです、運営費負担金がないところの経営状況等の評価も含めた上で、最終評価をした方がいいのではと思います。

○事務局

今年度の年度評価につきましては、コロナの影響についても数値化できる部分は、可能な限り数値化して評価できるよう努力したいと考えております。また、コロナ対応については、もっとアピールできるよう来年度の報告書の表現を検討いたします。

運営費負担金については、年度で決定した金額を交付しておりますが、できるだけ少なくなるよう検討してまいります。また、運営費負担金の評価につきましても、何らかの評価方法も考えていきたいと思っております。

○委員

まず、定量的な部分についての評価は賛成です。

記述式の定性的な評価の書きぶりについて、3点コメントさせていただきます。

1点目は、2ページ目の下段、「法人全体として当期純利益を確保し、着実に経営改善が図られている」という文言があります。「経営改善が図られている」とは、定量的に数値が良くなっているというイメージを持ちますが、7ページの一番下段に記載の通り、目標値を下回る見込みであるという記載や9ページの収支状況に関する数値が29・30年度は確かに良くなっているが令和元年度については落ち込んでいる部分がありますので、改善という表現が適切かどうか。確かに目標達成はしているけれども、着実な経営改善といえるかどうか気がなるところです。

2点目は、3ページの特筆すべき取組で、両病院共通で「外部コンサルタントを活用した価格交渉の徹底」とありますが、価格交渉を徹底すること自体は、特筆すべき点ではないと認識しております。大事なのはそれによって、どういう成果が上げられたのかということで、

その成果に関する数値としては60ページのこども病院においては、例えば医業収益に占める材料費の比率は確かに減少傾向にあるが、市民病院では30年度は上がっている。そういったところを勘案すると、価格交渉の徹底ができて、経営的に良い効果があったのかどうか、気になったところです。

3点目は、5ページ下段で、第4中期目標期間に向けての言及があります。こども病院については、医療環境の変化を踏まえながら検討を進めるとありますが、市民病院については、福岡市におけるあり方検討を踏まえながら検討を進めるという書きぶりになっています。他の文言では、外的な医療環境を勘案しながらやっていくことが重要とされていますので、市民病院に対しても医療環境の変化を踏まえることについて、記載されても良いのではと思いました。その際に定性的な評価ではなくて、しっかり客観的なデータに基づいて評価できるよう第4期については検討いただきたい。

○事務局

ご指摘のあった箇所の記載については、検討させていただきます。

市民病院の医療環境の変化についての記載につきましては、5ページは病院機構から出された業務実績報告書の部分になるので修正せず、また、医療環境の変化については、両病院に共通することですので、今後の実績報告書では市民病院についても、同内容を記載するよう求めていきたいと考えております。

○委員

第三期中期目標の見込み評価に関しましては、妥当であると考えております。

具体的には、51・53ページにある地域包括ケアシステムにおける役割として、両病院が在宅・訪問看護との連携をどのように行っていくかという視点が重要だと思っています。例えば、小児の訪問看護の現場では、専門的な知識・技術を持った看護師が少ないという現状があり、こども病院の専門的な知識・ノウハウを持った看護師の支援は非常に重要と考えております。市民病院におきましても、早期在宅、在宅移行後のフォローアップ含めて、地域とどのように連携強化していくかという視点でも、まとめていただくといいと考えております。

また、それを含めて、3ページの今後改善を期待する取組に人材の確保や育成がほとんど入っていないのが気になります。両病院ともに人をどのように確保して、育成していくかが、病院の経営にとって非常に大きなことになっていくと思いますので、人材の確保育成に関する項目についても検討いただきたいと考えております。

○事務局

3ページの今後改善を期待する取組については、委員ご指摘のとおり、人材の確保・育成を追記する方向で検討させていただきます。地域包括ケアにつきましては、51・53ページの部分は、病院機構から出された報告書なので修正せず、今年度の年度評価または中期目標の実績評価の部分では、しっかりその内容を入れる形で、対応させていただきたいと思います。

○委員

2 ページの全体評価で、29 年度の「第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置」の年度評価が A になっているが、これは急性弛緩性脊髄炎に係る調査研究の成果が米国の一流誌に掲載され、厚生労働省から 5 類感染症として追加されたことは高く評価できるものと記憶しているが、このことは記載されていますか。

○事務局

3 ページの特筆すべき取組に記載しております。

○委員長

他にご意見ございませんでしょうか。

ないようですので、皆さんから出された意見を市の評価に適切に反映していただくようお願いいたします。また、3 ページのその他の意見、指摘等につきましては、私の方で責任を持って確認させていただきますので、委員長一任とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

異議なし

○委員長

それでは、委員長に一任とさせていただき、議事（2）についての審議を終わらせていただきます。

その他

○事務局

【第 3 回の日程等について説明】